

本表の略記法について

リソースに出現する CodeableConcept 型の要素は以下のような構造をとる。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
n	要素名				0..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
n.1		coding			0..*	Coding		表現したいコンセプトのコード記述。 繰り返しにより複数のコード体系によるコーディングで記述できる。
n.1.1			system		1..1	uri	“http:.....”	コード体系。
n.1.2			code		1..1	code	“B0EF”	コード。
n.1.3			display		0..1	string	“持続腹痛”	コード体系におけるコードに対応するの表示名
n.2		text			0..1	string	“長く続く腹部の痛み”	表現したいコンセプトのテキスト記述

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。値の欄は、4 つの行(子要素)に使う値を列挙するが、省略することもある。多重度の記載は、1 段目に CodeableConcept 型の要素自体の多重度、2 段目にその子要素 coding の多重度(上表 n.1 の多重度)を転記している。

n	要素名				0..1 0..*	CodeableConcept	“http:.....” “00” “持続腹痛” “長く続く腹部の痛み”	説明
---	-----	--	--	--	--------------	-----------------	---	----

なお、coding の多重度の最小値が 0 (すなわち省略可能) の場合には、コードによる記述をせず、以下のようにテキストだけで記述することも許されている。

表 Observation リソース 検査・観察情報

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
resourceType						“Observation”	Observation リソースであることを示す
text				0..1	Narrative		本リソースをテキストで表現したものをに入れてもよい。
	status			1..1	code	“generated”	固定値。テキスト内容の全てがリソースのコンテンツから生成されたことを示す。
	div			1..1	xhtml	<div xmlns="http://www.w3.org/1999/xhtml">xxx</div>	値は例示。
identifier				0..1	Identifier		この検査・観察情報に付番された ID

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	system			1..1		"urn:oid:..."	付番方法については「識別子名前空間一覧」を参照。値は例示。
	value			1..1		"2020-10-002933"	検査・観察情報 ID の文字列。値は例示。
status				1..1	code	"final"	<p>検査・観察のステータス。</p> <p>コード表: "http://hl7.org/fhir/observation-status"</p> <p>registered preliminary final amended など。</p> <p>結果未着、中間結果、最終結果、更新結果、エラー修正、キャンセル、エラー、不明、</p>
category				0..1	CodeableConcept	"http://terminology.hl7.org/CodeSystem/observation-category" "laboratory"	<p>検査・観察の種類区分。</p> <p>social-history: 社会生活歴</p> <p>vital-signs: バイタルサイン</p> <p>imaging: 画像検査</p> <p>laboratory: 検査室検査</p> <p>procedure: 手術処置治療</p> <p>survey: 調査・評価</p> <p>exam: 身体検査・観察</p> <p>therapy: 非介入治療による観察結果</p> <p>activity: 身体活動記録</p>

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
code				1..1	CodeableConcept		検査・観察の項目コード LOINC コードと国内標準コードがある場合には国内標準コードを併用することが望ましいが、適切な標準コード化ができない場合には、施設固有コード、テキスト記述を併用する。
subject				1..1	Reference		患者を表す Patient リソースへの参照。
encounter				0..1	Reference(Encounter)		検査・観察が実施された受診情報（外来受診情報または入院詳細情報）
(effective)							検査・観察が実施された時期。 4 通りのいずれかの子要素（effectiveDateTime、effectivePeriod、effectiveTimig、effectiveInstant）のひとつを選択して、それにより記述する。複数を選択はできない。effective 要素は記述しないで、直接 effectiveDateTime 要素のレベルを記述する。
	effectiveDateTime			0..1	dateTime		日時
	effectivePeriod			0..1	Period		期間
		start		0..1	dateTime		開始日時

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
		end		0..1	dateTime		終了日時
	effectiveTiming			0..1	Timing		繰り返しタイミングや回数を含む情報(本文書では使用しない)
	effectiveInstant			0..1	instant		システムが生成する瞬間日時情報
performer				0..1	Reference(Practitioner PractitionerRole Organization CareTeam Patient RelatedPerson)		この検査・観察結果に責任をもつ者
(value)							検査・観察が実施された時期。 11 通りのいずれかの子要素のひとつを選択して、それにより記述する。複数を選択はできない。value 要素は記述しないで、直接 valueQuantity 要素のレベルを記述する。
	valueQuantity			0..1	Quantity		結果が数量で記述できる場合。
	valueCodeableConcept			0..1	CodeableConcept		結果がコード化されたコンセプトで記述できる場合。
	valueString			0..1	string		結果が可読文字列(1M バイト以内)で記述できる場合。
	valueBoolean			0..1	boolean		結果が真偽値で記述できる場合。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	valueInteger			0..1	integer		結果が整数値で記述できる場合。
	valueRange			0..1	Range		結果が数量の範囲で記述できる場合。
	valueRatio			0..1	Ratio		結果が数量の比率で記述できる場合。
	valueSampleData			0..1	SampledData		結果がサンプリングデータの場合。
	valueTime			0..1	time		結果が時刻・時間値の場合。
	valueDateTime			0..1	dateTime		結果が日時の場合。
	valuePeriod			0..1	Period		結果が期間の場合。
dataAbsentReason				0..1	CodeableConcept	“http://terminology.hl7.org/CodeSystem/data-absent-reason” “unknown”	検査結果値が欠落している理由。
interpretation				0..1	CodeableConcept	“http://terminology.hl7.org/CodeSystem/v3-ObservationInterpretation” “H”	検査結果値の評価コード。 基準値より High など。
note				0..*			結果に関するコメントテキスト記述
	author						記載者の情報

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
		authorString		0..1	string	“患者”	記載者氏名などの文字列。必ずしも氏名でなくてもよい。
	time			0..1	dateTime		この追加的な情報が作成された日時。
	text			1..1	markdown		追加的な情報の内容。markdown形式のテキストが使用できる。データとして 1M バイト以内であること。
bodySite				0..1	CodeableConcept	“urn:oid:1.2.392.200119.4.201.5” “1244” “腹部” “腹部”	該当する状態が現れている解剖学的な場所を示す。 system 値は MEDIS 標準病名マスター修飾語交換用コードを使用する場合の例示。”1244”は、MEDIS 標準病名マスター修飾語交換用コードで“腹部”のコード。“腹部”はそのテキスト記述の例。
method				0..0	CodeableConcept		検査手法。 Coding せず text 情報だけを必要に応じて記述する。
specimen				1..0	Reference(Specimen)		患者の何に対して検査を実施したかの情報。検体検査では検体材料のリソースへの参照となる。
referenceRange				0..1	BackboneElement		推奨範囲として結果値を解釈するためのガイダンス。基準値範囲。
	low			0..1	SimpleQuantity		
		value		1..1	decimal		下限値。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
		unit		1..1	string	“mg/L”	検査下限値の単位
		system		1..1	uri	“http://unitsofmeasure.org”	単位体系 UCUM コード体系。固定値。
		code		1..1	code	“mg/L”	医薬品単位略号。値は例示。
	high			0..1	impleQuantity		上限値。(low と同じ記述方法なので省略)
	type				CodeableConcept	“http://terminology.hl7.org/CodeSystem/reference-range-meaning”	参照値範囲の意味コード コード:コードの意味 type:Type normal:Normal Range recommended:Recommended Range treatment:Treatment Range therapeutic:Therapeutic Desired Level pre:Pre Therapeutic Desired Level post:Post Therapeutic Desired Level endocrine:Endocrine pre-puberty:Pre-Puberty follicular:Follicular Stage midcycle:MidCycle luteal:Luteal

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
							postmenopausal:Post-Menopause
	text			0..1	string		テキストで記述した検査結果・観察値の基準範囲。
hasMember				0..*	Reference(Observation QuestionnaireResponse)		この検査が複数の検査項目をグループ化したパネル検査もしくはバッテリー検査の場合に、このグループに含まれる個々の検査の参照へのリストである。この場合には、本 Observation リソースの value は存在しない。
derivedFrom				0..*	Reference(Observation QuestionnaireResponse)		この検査が他の 1 つ以上の検査値から派生している (BMI が体重と身長から派生して算出される場合など) 場合に、その派生元の検査への参照のリスト。
component				0..*	BackboneElement		<p>同じ検査・観察において、メソッドが 1 つ、観察が 1 つ、実行者が 1 つ、デバイスが 1 つ、時間が 1 つしかない 1 回の検査・観察で同時に複数の検査結果が得られる場合に、その各検査を component をみなして、この Observation リソースの component 要素に記述する。</p> <p>たとえばこの Observation リソースが血圧である場合に、収縮期血圧値と拡張期血圧値の 2 つは、Observation リソース: 血圧の 2 つの component として記述される。</p>
	code			1..1	CodeableConcept		Observation.code と同じ。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	(value)			0..1	11 種類のデータタイプのいずれかひとつ。		Observation.(value)と同じ。
	dataAbsentReason			0..1	CodeableConcept		Observation.dataAbsentReason と同じ。
	interpretation			0..1	CodeableConcept		Observation. interpretation と同じ。
	referenceRange			0..1	BackboneElement		Observation. referenceRange と同じ。